



ヒグマの出没時に備えて 町内で初の緊急銃猟実地訓練が行われる

道内でのヒグマ出沒情報が絶えないなか、町は、10月14日、猟友会、栗山警察署、消防署と連携し緊急銃猟訓練を実施しました。緊急銃猟は、人の生活圏にヒグマが侵入した際、市町村長の判断・指示によりハンターが銃を使用できる制度。栗山ダムパークゴルフコースにヒグマが居座ったという想定で行われ、参加者はそれぞれの役割を確認しながら訓練にあたっていました。



全道大会での活躍を誓う 栗山剣道スポーツ少年団の2人が決意

第40回空知管内スポーツ少年団剣道交流大会の中学生女子個人戦で優勝・準優勝し、全道大会への出場を決めた相馬道瑠さん（栗山中3年）と梶山愛奈さん（同3年）が10月7日、吉田政和教育長へ報告に訪れました。相馬さんは「全道大会でも優勝目指して頑張る」、梶山さんは「全道大会では優勝したい」と意気込みました。



企業の森林づくり 株式会社岸本組と協定

町は9月29日、美瑛市の株式会社岸本組（岸本友宏代表取締役）と「企業の森林づくりに関する協定」を締結しました。5年間、町有林の植樹や草刈りなどの森林保全活動を行います。佐々木学町長は「大変心強い」と感謝を述べ、岸本代表取締役は「次の世代のために未来を育てる会社を目指したい」とあいさつしました。



W杯出場を決め佐々木学町長へ表敬訪問 アンブティサッカー日本代表監督 尾形行亮さん

11月にメキシコで開催されるW杯への出場を決めたアンブティサッカー日本代表監督の尾形行亮さん（おがたぎょうすけ）が9月28日、佐々木学町長を表敬訪問しました。この競技は上肢または下肢に切断・機能障がいのある選手がプレーするサッカーで、尾形さんが率いるチームはアジア大会で好成績を残していました。「メダルを目指して全力で戦う」と意気込みました。



日頃の訓練で町民の命と財産を守る 南空知4町の消防団による演習

南空知消防組合消防演習（主催：北海道消防協会空知地方支部南空知分会・南空知消防組合）が、10月17日、栗夢広場で開催されました。栗山町、長沼町、南幌町、由仁町から323人の団員が集結し、分列行進、隊列行進、救急救命訓練、放水訓練を披露。町民の安全なくらしに向け士気を高めました。



新たな歴史の幕開け 7代目馬追橋が開通

栗山町と長沼町の間を流れる夕張川に架かる馬追橋が、約10年の工事期間を経て完成し、10月16日、開通式が行われました。架け替えられた新しい橋の長久を願う古くからの慣習である「親子三世代による渡し初め」は、富士の長尾さん一家が努めました。長尾さん一家を先頭に地域の方や関係者など約150人が7代目馬追橋の渡し初めを行い橋の完成を祝いました。



地域ぐるみで災害への備えを確認 総合防災訓練を実施

町は、10月3日、栗山高校を会場に豪雨による河川氾濫を想定した総合防災訓練を実施しました。会場では、救護や心肺蘇生、放水、炊き出しなどの各種訓練のほか、自衛隊や消防の車両、備蓄品の展示も行われました。肌寒い天候の中でしたが、多くの町民が参加し、防災への意識と関心を深めました。



国道234号で交通安全を呼びかけ 交通安全イエロー作戦

栗山町国道234号整備促進期成会（会長：佐々木学町長）は、交通事故死ゼロを目指す日の9月30日、国道234号沿線で交通安全イエロー作戦を実施しました。佐々木町長は「事故の未然防止に向けてしっかりと活動しましょう」とあいさつし、集まった約20人の会員は「スピードダウン」などの旗を掲げてドライバーに安全運転を呼びかけました。

